

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	三浦 匡治		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	自動車工学機械設計科 1年生						
授業概要	社会人としてのマナー教育およびビジネスマナー教育は、麻生塾教育方針に掲げられた「人間性、人格の成長」の基本である。目指す人材像(グローバルシティズン)に近づくために、また身につけた専門性を生かすために、麻生塾の教育においてあらゆる場面で実現させていく必要がある。この講義ではその第一歩として、「人間力」を高める感謝と志について学んでいく。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		感謝の心を持つことにより他社依存から脱却することができる。	
		○		○		責任感と他者への思いやりをカタチに表現できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (感謝心と思いやりの教育) 指導者用ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう①グローバルシティズンとは ②人として(麻生塾生として)「感謝心」にもとづく生き方					
	2	グローバルシティズンを目指そう③キャリアデザインとGCBの関係性 ~ 発揮できる能力を身につける					
	3	「協働」の態度を持った学生生活①「働く」ことの幸せとは ②成果を上げる組織(職場・クラス)の特徴					
	4	「協働」の態度を持った学生生活③「FISH哲学」から学ぶ仕事(学校生活) の楽しみと協働の重要性				レポートを記入しておくこと	
	5	よりよい人間関係の構築に向けて(モラル・ルール・マナーの重要性) ①日本人としての秩序・礼儀					
	6	よりよい人間関係の構築に向けて(モラル・ルール・マナーの重要性) ②社会生活におけるマナーの重要性 ③マナーの基本的考え方				レポートを記入しておくこと	
	7	マナーの本質 I ①思いやり・気配りのカタチ ②相手に迷惑を掛けない(“自由”と“勝手”の違い “気づく力”)					
	8	マナーの本質 I ③相手に良い印象を与える(印象形成 身だしなみ 態度・ 動作 言葉)				レポートを記入しておくこと	
	9	マナーの本質 II ①相手に敬意を表する ②思いを伝える“あいさつ”					
	10	マナーの本質 II ③成長につながる人としてのあり方 ④自分を理解する				レポートを記入しておくこと	
	11	グローバルシティズンとしての日常①日常習慣の大切さ ②相手も自分も尊重する					
	12	グローバルシティズンとしての日常③相手を理解し自らも理解される ④協力する力をもつ				レポートを記入しておくこと	
	13	グローバルシティズンとしての目標①自己肯定感と行動 ②プラス思考(ピンチはチャンス)					
	14	グローバルシティズンとしての目標③「成功」の本質とチャレンジ精神 ④目標設定力と目標達成力				レポートを記入しておくこと	
15	グローバルシティズンとしての「志」に向けて①スポーツ選手の生き方から						
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 成績評価基準は、出席率、レポート提出状況を評価し、R(単位取得)・D(単位未取得)認定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席率・レポート提出状況				○		100%
履修上の注意							